

優秀賞

頑張れ！あと少し！

広島県 広島市立祇園中学校三年 大下 結衣

「頑張れ！あと少し！」

雨の中、グラウンドにそんな言葉が響いた。

六月の下旬、体育祭が開催された。中学校生活最後の体育祭。朝から天気もよく、無事開催することができた。

リレーや綱引きなど競技が終わっていくにつれ、雲行きがややしくなってきた。せめて、午後の部最初の競技だけはやりたい！そう思いつつ昼食をとり外に出ると、今にも雨が降りそうだった。

入場門で待機していると、ポツポツと雨が降ってきてしまった。中止になるかと思っただけ、最初の競技『むかで競争』はやることになった。

私たちのクラスが特に熱を入れて練習した『むかで競争』。自分たちのため、担任の先生のために絶対一位をとる！そんな気持ちで入場した。

前半クラスがやっている最中も、雨は弱まるどころか次第に強くなっていき、グラウンドもドロドロになっていき、最悪の状態で自分達の番が来た。

男子からスタートし、順調で女子にバトンがつかれた。女子も最初は順調で上位にいた。だが、雨で地面がすべりやすくなってしまったため、すべってしまい転んでしまった。真っ白な体操服はドロドロに汚れ、縄が足にからまったりしてしまい、タイムロス。いつの間にか他のクラスはゴールし、残るは自分たちのクラスだけ。そのせいか少し焦ってしまい何度も転んでしまった。その度に、同じクラスの男子、同じ色組はもちろん、他クラス他学年、他の色組までが、

「頑張れ！あと少し！」

と、応援してくれた。ドロドロになりながらもやっとの思いでゴールした。その時雨はどしゃぶり。びしょびしょでドロドロ。どのクラスよりも。ゴール

した後、みんな涙が出てきて泣き始めた。転んだからではない。雨にぬれたからでもない。あれだけ練習し、練習では一位になったりしたのに、本番でその成果が出せなかった、担任の先生に一位をプレゼントできなかった。という悔しい気持ちからだった。でも、どのクラスよりもドロドロになりながらもあきらめずに進んで行く姿を見た先生は、

「初めて教師になって良かったって思った。」
そう言った。

練習の成果は出せなかったし、一位にもなれなかった。でもその事よりもすごく大切な事を学ぶことができた。それは、練習の成果を出すことも大切だが、出せなかった仲間とどう動くか、一位をとれなくても、他よりも強く思い出に残るかどうかだということ。

今回の出来事は、クラスの団結力も良くなり仲間深まり、楽しさ嬉しさ悔しさ、色んな感情が出る、中学最後の体育祭となった。

